

第95回

令和4年度

全国安全週間

◎本週間◎
令和4年 7/1~7
○準備期間○
令和4年 6/1~30



「安全は 急がず 焦らず 怠らず」

全国安全週間は、昭和3年に初めて実施されて以来、「人命の尊重」という崇高な基本理念の下、「産業界での自主的な労働災害防止活動を推進し、広く一般の安全意識の高揚と安全活動の定着を図ること」を目的に、一度も中断することなく続けられ、今年で95回目を迎えます。

この間、事業場では、労使が協調して労働災害防止対策が展開されてきました。この努力により労働災害は長期的には減少していますが、令和3年の全国における労働災害については、死亡災害は、令和2年803人から令和3年857人と前年より増加しており、休業4日以上の死傷災害（以下「死傷災害」という。）は、令和2年131、156人、令和3年149、917人（新型コロナウイルス感染症のり患による労働災害を含めた数値）となっており、近年では増加傾向にあります。

これらの要因としては、事業場が基本的な安全管理の取組を労働者に徹底させていないこと、第三次産業においては、店舗等に安全担当者がおらず、安全活動が低調となっていることなどが考えられます。

島根県内において、令和3年には、6人の尊い命が労働の場において失われました。死傷災害は825人と前年に比較して137人増加しました。業種別に見ると第三次産業で最も多く災害が発生しています。

益田労働基準監督署管内では、令和3年に死亡災害が2件発生しました。また、死傷災害についても86人と前年に比較して7人増加しました。業種別に見ると第三次産業、建設業が増加しています。

第13次労働災害防止計画が現在展開され、計画期間は今年度末までとなっていますので、目

益田支部だより

第93号
令和4年5月
一般社団法人
島根労働基準協会
益田支部
益田市あけぼの
東町13-1
赤陵会館内3F
TEL0856-24-1585

申告と納付はお早めに
労働保険の年度更新
労災保険・雇用保険

令和4年度
6月1日(水)~7月11日(月)

- 年度更新申告書は5月末頃に送付する予定です。
- 口座振替による納付が便利です。
- 電子申請は時間帯を問わず、いつでも申請が可能です。是非ご利用ください。

標達成に向けた更なる取り組みが必要で、働く方一人一人がかげがえのない存在であり、各事業場で1人の被災者も出さないという基本理念の下、日々の仕事及安全なものとなるよう、継続的な安全管理を行うことが重要です。

このような状況を踏まえ、労働災害の撲滅を目標として、令

和4年度の全国安全週間は、以下のスローガンで取り組みます。

安全は 急がず焦らず怠らず

全国安全週間を契機として、それぞれの職場で、労働災害防止の重要性を認識し、安全活動の着実な実行を図っていただきますようお願いいたします。

益田労働基準監督署 新職員着任ごあいさつ

益田労働基準監督署

労災課長

渡部 幸由



4月1日付で益田労働基準監督署労災課へ着任いたしました渡部と申します。どうぞよろしくお願いたします。

益田監督署勤務は3度目となります。また趣味のテニスやマラソンで益田へ訪れることがあり、親しみがある印象を持っております。

さて、労災課の業務は、労働保険の加入手続きや労災補償手続きになります。常勤社員、パート社員、アルバイト等の名称や雇用形態にかかわらず、全ての労働者の方に労災保険の適用が

あります。労災保険制度は、労働者の方が仕事中や通勤途中に、仕事や通勤行為が原因で、けがや病気等になった場合、治療費や休業補償等の保険給付を行う制度になっています。

最近では、多様な働き方を選択する方やパート労働者等で複数就業している方が増えており、副業や兼業により複数の事業場で働く労働者の方の補償手続き方法が変更となっております。

また、連日報道されている新型コロナウイルス感染症について、労働者が業務により感染し、療養や休業が必要となった場合、労災保険給付の対象となっております。

このような労災補償制度について、事業場の皆様におかれましては、手続き方法や判断に迷われるケースが多々あると思

ます。労災保険の様々な手続きについての相談事案がありまして、些細な事でも構いませんので、遠慮なく労災課へご相談いただければと思っております。

益田労働基準監督署

監督・安衛課 監督係

北爪 大貴



このたび、令和4年4月1日付で監督・安衛課 監督係として着任いたしました北爪大貴と申します。

私の前任地は兵庫労働局姫路労働基準監督署で、2年間勤務しました。私の出身地が兵庫県姫路市ということもあり、姫路署での2年間はある程度土地勘

最後になります。会員事業場の皆様の益々のご発展とご健康を祈念いたしまして、着任の挨拶とさせていただきます。

もあつたのですが、益田市は初めての場所なので早く慣れたいと思っております。実はこの島根の地は、一時期住んでいたこともあつたことから、私が労働基準監督官という職を知り、そして志した、原点とも言える場所なので、何かの縁を感じます。まだまだ未熟な部分も多いですが、精一杯務めてまいります。

さて、労働基準法等の改正により、監督署に届け出る様式の変更、年次有給休暇の年5日取得・年次有給休暇管理簿の作成義務化などが施行されてから数年経過したこともあり、かなりの部分が浸透してきておりま

す。また、令和4年4月1日からは金属アーク溶接等作業について、特定化学物質作業主任者の選任や呼吸用保護具の選択・使用（粉じん則に加えて特化則も適用）などの実施が施行されることとなりました。それらにつきまして、労働行政としても周知を図ってまいりますので、会員事業場の皆さまにおかれましても適宜確認いただくとともに、ご不明点などございましたらお気軽なお問い合わせください。



益田労働基準監督署

労災係

赤澤 亮



この度、4月1日付で、益田労働基準監督署の労災係として着任いたしました赤澤亮と申します。

私は、令和4年4月1日付で厚生労働事務官として採用され、最初の赴任地が益田労働基準監督署となりました。

生まれは岡山県で、島根県には初めて住むことになり、不安もありますが、どちらかといえば、期待の方が大きいです。コロナウイルスも少しずつ落ち着きを見せてきている中で、コロナウイルス隆盛以前の生活に戻りつつあることを嬉しく思っておりますが、各事業場の方々におかれましてはまだ道のり半ばのところも多いかと推測され、皆様方の一日でも早い経営の正常化を期待・祈願しております。労災業務に従事して、まだ1

か月も経ちませんが、制度や実際に支給に至るまでのプロセスには思っていた以上の難しさを感じています。

人間が生きていく以上、決して避けることのできない労働において、働く人が安心して働くことのできるよう、微力ながら当業務を通じてサポートできればと考えております。遺族補償や休業補償といった、働く人の為だけでなく、その周りの方々の為にこの業務を通じて何ができるのか日々考えながら、業務に取り組んでいきたいと考えています。

何かお困りごとがあれば、お気軽に監督署にご相談いただければと思います。

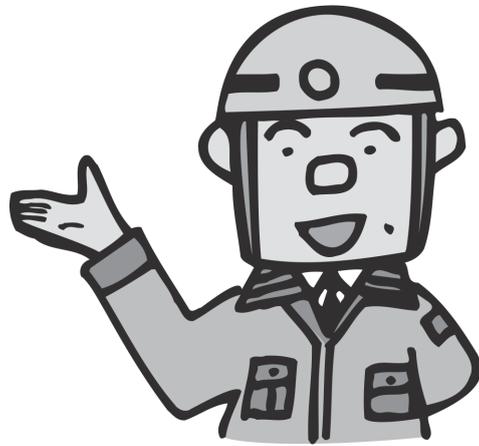
最後になりますが、会員の皆様の益々のご活躍、ご健康を祈願して着任の挨拶とさせていただきます。



危険予知訓練 (KYT) 研修会のお知らせ

- 開催日時 **令和4年7月5日(火) PM 13:00 ~ 17:00**
- 場 所 **ジャストホール (益田市遠田町2179-1)**
- 定 員 **20名**
- 受講料 **3,100円**
- カリキュラム
 - ①危険予知訓練の進め方
 - ②危険予知基礎4R法の実技
 - ③一人KY、ヒヤリ・ハットKY
 - ④情報交流

お問い合わせ先 益田支部まで。
Tel. (0856-24-1585)



STOP！転倒災害

～作業環境を見直しましょう～

益田署管内の令和3年の全労働災害（休業4日以上）の約3割を「転倒災害」が占めました。また、転倒災害の8割が第3次産業で発生しています。
 転倒災害はどの事業場でも起こりうる身近な災害です。作業環境を確認して転倒災害の防止に取り組みましょう。



転倒の危険をチェックしてみましょう！

チェック項目		<input type="checkbox"/>
1	通路、階段、出口に物を放置していませんか	<input type="checkbox"/>
2	床の水たまりや氷、油、粉類などは放置せず、その都度取り除いていますか	<input type="checkbox"/>
3	通路や階段を安全に移動できるように十分な明るさ（照度）が確保されていますか	<input type="checkbox"/>
4	靴は、すべりにくくちょうど良いサイズのものを選んでいませんか	<input type="checkbox"/>
5	転倒しやすい場所の危険マップを作成し、周知していますか	<input type="checkbox"/>
6	段差のある箇所や滑りやすい場所などに、注意を促す標識をつけていませんか	<input type="checkbox"/>
7	ポケットに手を入れたまま歩くことを禁止していますか	<input type="checkbox"/>
8	ストレッチや転倒予防のための運動を取り入れていますか	<input type="checkbox"/>
9	転倒を予防するための教育を行っていますか	<input type="checkbox"/>

① 作業場所の整理整頓



② 作業場所の清掃



③ 毎日の運動



厚生労働省では「STOP！転倒災害プロジェクト」を推進しています。具体的な対策はこちらをチェック！

